

# 2019年度 自己評価

青谷聖家族幼稚園

## 1. 教育目標

キリストの教えと願いを教育の理念として保育を行う。  
個性を豊かにし、主体的に行動できる人間となることを願い、その基礎教育を目指す。

- 育てたい幼児像
- ◎神と人と自然を大切にする子ども
  - ◎心も体も健康でたくましく明るい子ども
  - ◎思いやりと感謝の心を持つ子ども
  - ◎主体性のある子ども
  - ◎創造豊かな子ども

## 2. 本年度の重点目標

- ・遊びを大切にした教育
- ・チーム保育の充実 教職員誰もが園児全員の事を共通に理解し幼児や保護者とのコミュニケーションを取り一人一人の子どもに適切に援助する
- ・主体性が育つように自分で考えて行動できるようなカリキュラムを取り入れる廃材工作に力を入れ展開させていけるような環境作りに取り組む
- ・親子当園クラスの充実

## 3. 評価項目ごとの取組状況及び達成度合い

項目	評価項目	内容
学校運営	施設・環境 設備	・幼稚園前の畑で年長児がジャガイモの植え付けと収穫、秋はさつまいもの収穫を全園児で行った。 ・土曜参観では年長児のみ畑と園前駐車場で車での参観をできるようにした。
	安全・衛生	・門を常に施錠し来訪者には職員室から直接対応できる園舎の造りであるため部外者が園内に侵入することはなかった。 ・保護者には保護者証携帯を徹底した。 ・交通巡視員による交通安全教室を実施 ・消防訓練の実施（年2回） ・インフルエンザなど感染症予防のため子どもたちへの手洗い、うがいの徹底
	家庭・地域と の連携	・地域にある老人ホームを訪問（計3回） ・保育参観（年7,8回）で園の様子を見てもらった。また、個人懇談をもち園から子どもの様子を話した。 ・問題があるときはその都度、電話で保護者に連絡した。
	教職員研修	・京都市南カトリック学園3園による合同職員研修（6回） ・カトリック京都司教区にある幼保全園による合同研修 ・城南地区幼稚園による月1回の研修（2名参加） ・京都私立幼稚園連盟による研修 ・文科省主催による教育課程研修 ・キンダーカウンセラーによる園内研修（年2回）

教育活動	教育課題・年間計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間計画は昨年の反省ふまえた上、職員全員で見立てた。</li> <li>・月案、週案の各担当が立案し全員が見られるように掲示し、終わりには反省を記入して以後の保育に役立てた。</li> <li>・毎日のカリキュラムは天候や人員配置により臨機応変に変更した。</li> </ul>
	特別支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・療育教室に通う園児には教室や保健師と連携を取り、全ての教員が子どもの情報を共有して保護者とも連絡を取りながら保育を進めた。</li> <li>・その他配慮のいるに園児に関しても教員間で情報を交換し、その園児に必要な配慮をしながら保育を進めた。</li> </ul>
	子育て支援（未就園児）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子登園クラス（ひよこ組）を5月から実施し、登録してもらった8割以上の方が次年度の入園につながった。</li> <li>・子育て支援活動として毎月1回（土曜日）、誰でも来られる機会を作り、施設開放や工作をし、また、人形劇やプロのパフォーマーに依頼して親子で楽しめる機会を作った。</li> </ul>
	預かり保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就業している方には朝8時からの預かり保育（無料）を実施。</li> <li>・保育終了後は17時30分までの預かり保育を実施。</li> <li>・長期休暇（春、夏、冬休み）の預かり保育は8時から17時30分まで実施。</li> <li>・朝の預かり以外は、誰でも利用が可能。</li> </ul>
	その他の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師による体育教室、英語教室を年中、年長児は週1回実施、年少児は体育教室を月2回実施。</li> <li>・助産師さんによる「命のおはなし」を年長児対象に実施。</li> </ul>

#### 4. 総合評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度は園児117名でスタートし1名が途中入園して118名である</li> <li>・月1回の職員会議においていろいろな課題を共有し、また毎日の終礼時にもその日の問題点を話し合っって教員間での共通理解を得ている。</li> <li>・今年度は行事について、特に運動会の競技、組み立てと鼓隊について何度も話し合い、子供が主体となって参加できる運動会を3年後にはできるように今後も話し合いや研修を続けていく</li> <li>・運動会については職員で話し合ったことをすぐに結論を出すのではなく、役員会などで保護者の意見を伺いながらこれからもすすめていこうと思う。</li> <li>・年々、夏の気温が上昇しているので戸外での遊びにいろいろな対策（遊び時間の変更、散水、日陰の設置、給水の徹底など）を立てながら園児の遊びを確保した。</li> <li>・園児たちは毎日の外遊びを楽しみにしながら、決められた時間内に運動会やクリスマス発表会など練習を行い、いろいろな行事で力を発揮して目指す幼児像になれたのではと思う。</li> </ul>
--

#### 5. 今後の課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子登園クラスの周知、園児の確保。</li> <li>・職員の研修。</li> <li>・特別支援児に対する配慮。</li> <li>・運動会を含めた行事内容の見直し。</li> <li>・子どもが主体の保育（自分で考え行動できる子どもになるための保育）をどのように取り組んでいくか。</li> </ul>
---